

校正済 ※今回はスクリプト修正なし。

「こんな時どう言う？ーコンビニでのフレーズ②」【台本】(1人Ver.)

収録日: 2025/●/● 収録場所: ●●

公開日: 2025/●/●

パーソナリティ: ○○先生(拠点:)

✓ 想定するリスナー層: 日本語学習者・生活者

- リスナーの疑問 : こんな時、どう言う？
- ラジオ番組の効果①: リスナーの日常の疑問が解決
- ラジオ番組の効果②: 日本語のリスニング能力の向上
- リスナーのメリット: 日本での生活がより快適になる

✓ 本番組の構成

- オープニング: 番組紹介 & BGM(1分)
- 本日のテーマ: 「日本のコンビニはすごい！」(●分)
- メイン: 「コンビニでのフレーズ」(●分)
- エンディング: 出演の感謝 & 締め言葉(1分)

以下、本番組のタイムテーブルです。

✓ 本番組のタイムテーブル

TIME	FLOW(全体の尺: ●分)
00:00	■ オープニング: 番組紹介 & BGM(1分) □ 番組紹介 ※イントロは毎回同じことを言う。 M: みなさん、こんにちは！お元気ですか。

今日も「こんな時、どう言う？」が始まりました。

この番組ではテキストには書いていない、レッスンでは出てこない、でもネイティブが毎日普通に使っている日本語をシーン別に毎回お届けします。

・本日のテーマ：日本のコンビニはすごい！（●分）

M： 皆さん、先日のエピソード：こんな時どう言うの「コンビニでのフレーズ」はお聞きになりましたか。

もしまだ聞いていない方がいらしたら、ぜひ聞いてみてください。

日本のコンビニエンスストアでどんなことができるかお話ししたあと、コンビニで

使える便利なフレーズをシーン別に紹介しました。

聞いたことのある方、「ドリップコーヒーの買い方」、「ホットスナックの頼み方」、「トイレの借り方」、これらで使うフレーズ、覚えていますか。そして実際に使ってみましたか。

さて、今日は前回好評だったコンビニシリーズの第2弾です。

今日はそれ以外に日本のコンビニでできることを二つ取り上げ、それぞれのフレーズを紹介します。

・メイン：コンビニでのフレーズ（●分）

M： では、早速「こんな時、どう言う？—コンビニでリクエストを伝える時」のフレーズをいくつか紹介します。

—皆さん、ちょっと想像してみてください。（←これは毎回の決めゼリフ）

週末、旅行に行きました。観光して、美味しいものを食べて、温泉にも入って、とても楽しい時間でした。最後にお土産をかうことにしました。地元の工芸品や食べ物など色々買って家に帰って来ました。

次の日、会社の人にお土産を渡します。近所に住んでいる友だちにも渡しました。

そしてあと一つ、日本国内に住んでいる友だちのためにも買いました。

でも少し遠くに住んでいますし、お互い忙しくてなかなか会うことができません。そうだ、送ろう！早速、荷造りをして、インターネットで宅配便の配送センターを調べます。でも家の近所には無さそうです。うーん、どうしよう…。

こんな時は…そう、コンビニに行けば日本国内どこへでも荷物を送れるんです！

さて、コンビニに来ました。「いらっしゃいませ。」お店の人が笑顔で言います。

このあと、どうすればいいでしょう。

こんな時、店員さんにこう言います。

—「すみません、荷物を送りたいんですが…」

そうすると店員さんがこう聞きます。「伝票はお持ちですか。」

もし持っていれば —「はい、あります。」

もし持っていなければ —「いいえ、ありません。」

持っていないことを伝えると、店員さんは伝票をくれますので、カウンターで必要な情報を記入します。

この時、もしペンを持っていなかったら

—「すみません。ペンを借りてもいいですか。」

と言うとペンを貸してくれます。

伝票を書き終わったら、あとは荷物に貼るだけ。そうすると店員さんがサイズと重さを計って、料金を計算してくれます。お金を払って、伝票の控え—送り主が持って帰るReceipt copy（レシートコピー）をもらえば終わりです。

最後に —「よろしくお願いします。」と言うと、とてもナチュラルです。

店員さんは「ありがとうございます。お預かりします。」と言ってくれますよ。

あ、くれぐれも受け取った伝票の控えは捨てずにとっておいてくださいね。荷物がちゃんと届いたかどうか調べる時に必要になりますから。

では次です。

—皆さん、ちょっと想像してみてください。（←これは毎回の決めゼリフ）

家に帰ってきて家のポストを開けると、郵便で請求書（インボイス）が届いていました。銀行や郵便局で支払うことができると書いてありますが、開いている時間に行けそうにありません。請求書の裏をよく見ると、支払い可能な場所が他にもたくさん書いてあります。その中に自分の家の近くにあるコンビニのロゴがありました。よし、コンビニに行って払おう！

さて、コンビニに来ました。「いらっしゃいませ。」お店の人が笑顔で言います。

このあと、どうすればいいでしょう。

こんな時、請求書を見せながら店員さんにこう言います。

—「すみません。これを払いたいんですが。」

そうすると店員さんがこう言います。「お預かりしてもよろしいですか。」

そして請求書にあるバーコードを読み込んで、画面に表示された金額を払います。

払い終わったら、店員さんが伝票にスタンプを押して「こちら、どうぞ。」と言って控えを渡してくれます。それを受け取ったら終わりです。

受け取るときは —「どうも。」と言うとナチュラルにお礼の気持ちを伝えることができます。

あ、くれぐれも受け取った請求書の控えは捨てずにとっておいてくださいね。

何かあった時、自分がいつどこで支払ったかを証明するものになりますから。

■エンディングトーク：本日のまとめ& 締め言葉（1分）

今日ご紹介したフレーズはいかがでしたでしょうか。

この先、日本で滞在や生活をしているとコンビニを利用する機会がたくさんあると思います。

そんな時は、今日紹介したコンビニでのフレーズを使ってみてください。

そして楽しくて快適なジャパンライフをお過ごしくださいね！

では最後に今日のフレーズをもう一度。（←最後に必ず復習タイム）

「すみません、荷物を送りたいんですが。」、「すみません。これを払いたいんですが。」

M：最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。（←必ずお礼と締めを入れる）

この番組を聞いて「生活の日本語」「生きた日本語」をたくさん覚えて、ぜひ実際に使ってみてください。

それでは、次回もどうぞお楽しみに！また聞いてくださいね！さようなら～。

✓ 事前打ち合わせMEMO&資料欄

